

2023年12月13日

奄美大島 瀬戸内町にてマングローブ植栽活動に参加しました

マルハニチロ株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：池見 賢）は、クロマグロ・カンパチなどの養殖事業を行う、マルハニチログループの株式会社マルハニチロ AQUA 奄美事業所（鹿児島県大島郡）とともに、奄美大島の瀬戸内町（鹿児島県大島郡）が主催するマングローブの植栽活動に参加しました。

本活動は今年1月に続き2回目となります。

日 程：2023年11月10日（金）、11月11日（土）

場 所：鹿児島県大島郡瀬戸内町小名瀬

主 催：瀬戸内町水産観光課

参加団体：瀬戸内町漁協、地元漁業者、県立古仁屋高校、マルハニチロ、マルハニチロ AQUA 奄美事業所等



11月10日の参加メンバー



11月11日の参加メンバー

2023年1月、瀬戸内町小名瀬地区にマングローブの一種であるメヒルギの苗300本を植栽しました。今回は同様の場所に苗350本を植栽しました。マングローブは成長とともに光合成によって二酸化炭素を吸収し、土壌中に根を張り炭素を貯留することから、気候変動対策として、藻場などの海洋生態系に取り込まれた炭素を意味する“ブルーカーボン”の効果が期待されます。加えてマングローブ周辺は稚魚や甲殻類等の生息場所となり、水産資源や生物多様性の保全に貢献します。

マルハニチログループは中期経営計画において「気候変動問題への対応」と「生物多様性と生態系の保全」をマテリアリティに設定し環境価値の創造に取り組んでいます。瀬戸内町との協働によるマングローブ植栽は、両課題の改善に寄与する活動であり、今後も連携を強化して取り組んでまいります。



ポットに入った苗を掘った穴に植えている様子

以上

【本件に関する問い合わせ先】

マルハニチロ(株) 経営企画部 サステナビリティ推進グループ
kankyou@maruha-nichiro.co.jp